

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(1/11)

| | 評価区分(※) | 評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値) | Ⅰ | Ⅱ | Ⅲ | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|--------------------------|---------|---------------------|---|---|------|---|
| | | | 目標に向けた取組の進捗に関する評価 | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | 総合評価 | |
| レアメタル等リサイクル資源特区 (秋田県) | 正 | 4.4 | 4.8 進捗度 ・特区に搬入されたりサイクル対象となる家電等金属系使用済製品の回収量(秋田県内) 93% ・特区に搬入されたりサイクル対象となる金属系使用済製品(廃基板等の副産物を含む)の搬入量(国内、アジア地域) 150% | 3.8 規制の特例等 ・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の送付期限緩和 財政支援等 ・太陽光発電システムの広域リサイクルネットワーク構築事業 等 地域独自の取組 ・環境調和型産業集積支援事業 等 | 4.5 | <p>・これまで、小型家電リサイクルの全国展開を先導する取組を行ってきており、それゆえに直面する困難な課題に対して、精力的に対応しようとする姿勢が評価できる。</p> <p>・県内での小型家電の回収量は頭打ちであり、実施スケジュールでも提示している、回収効率のための施策検討、不燃系混合廃棄物の分別などの独自の取組みでの特区制度の利用が期待される。</p> <p>・太陽光発電以外にも、EV関係なども含め、将来的に廃棄量の増加が見込まれる製品はあると思われる。これらの将来の潜在的な金属製使用済み製品群を明確し、その課題調査を進めていただきたい。</p> |

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)